

つくい富雄励ます会 総会

2016年5月28日

お忙しい中、ご来場いただきまして誠にありがとうございました。ご来賓の皆様、そしてご来場くださったすべての方に御礼申し上げます。活動報告・今後の活動方針・その他の議案について、全議案とも満場一致で可決承認されました。

会場：那須野が原ハーモニーホール（大ホール）



Activity Albums

大田原市新庁舎建設工事 三者協定締結式



震災以降、市民の皆様にご不便をお掛けしてきた市庁舎も、着工に向けて順調に準備を進めております。

宮崎県椎葉村との「災害時における相互応援協定」



椎葉村には平家の落人を派遣された那須大八郎宗久と平家の鶴富姫の悲しい恋の物語が残されています。那須大八郎宗久は大田原市にゆかりの深い那須一の弟と伝承されています。

移住・定住サポートセンター開所式



リオ五輪清水咲子選手報告



文化振興 ―お能を知る会で能奉行―

空校舎利用
-hikari no cafe 蜂巢小珈琲店オープン-

第27回 黒羽芭蕉の里 全国俳句大会



とちぎテレビ うたの王様 出張予選会

バイオマス産業都市構想等により
さらなる産業振興を!

CLT (直交集成板) やセルロースナノファイバーなど、
地域資源を活用した新たな可能性への取組み

農林業については、水田の基盤整備事業の推進、山林路網の整備、バイオマス産業都市構想、首都圏農業の確立など、強い農業大田原を。

商業については、ICTを活用した新たなビジネスモデルを。

工業については、ICTとの連携したモノづくりをはじめ、ロボット、環境、エネルギー、教育、医療福祉、農業、林業、建設ドローン等を活用した空間を制するニュービジネスなどの産学官金連携の産業振興により、引続き多くの雇用の確保と所得の向上につなげていきます。



とみおNEWS

つくい富雄市政報告

VOL.9

2017年(平成29年) 新春号

発行

つくい富雄励ます会事務所
大田原市上奥沢 594
TEL: 0287 (22) 5344
FAX: 0287 (22) 5300
発行者: つくい富雄励ます会

つくい富雄第二章 躍動中



※外観パースは基本設計イメージパースの為、完成時には異なる部分があります。

新市庁舎建設工事 平成29年8月 着工 平成30年11月 完成予定

知恵と愛のある 協働互敬のまちづくり

平成29年は、さらに地域の皆様と連携を図り、未来の子供たちの為に互いに知恵を出し合い、将来をしっかりと見据えた『平成の大田原』を創り上げてまいります。

地域に埋もれている貴重な資源を『ブラッシュアップ』し、皆様と共に更に躍動する大田原を創り上げます。

Brush Up

津久井富雄

知恵と愛のある協働互敬の大田原をめざして

子育て環境の充実

給食費無料化の継続



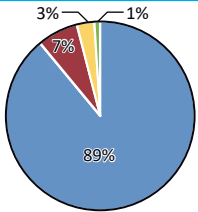
給食費無料化『継続を望む』が約9割

保護者アンケート結果

平成28年7月11日～7月20日にかけて、市内小中学校保護者4094世帯を対象に行われたアンケート（回収率／97.0%）

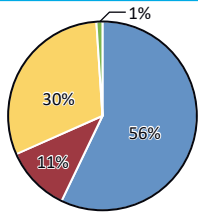
給食費無料化について、あなたのお考えに近いものを選んで下さい。

- 今後も継続を望む
- 一部変更して継続を望む
- 廃止を望む
- その他・未回答



子どもに給食費は税金であることを教えていますか。

- 教えている
- 教えていない
- これから教えたい
- 未回答



※詳細は大田原市ホームページをご覧ください。
子どもたちの未来への先進的な取り組みとして全国各地の市町からも視察団が訪れています。

安心・安全のまちづくり

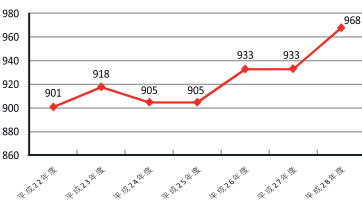


消防団及び自主防災組織の強化

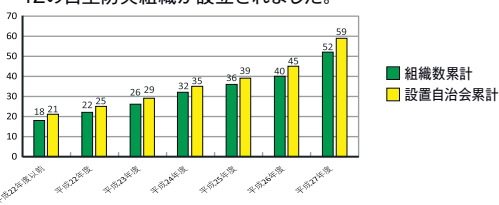
消防団員確保に貢献
総務大臣より感謝状

平成26年度から女性消防団員の登用及び会社勤め等のため、昼間の災害時に団員が不足するのを防ぐために平成28年度から創設した機能別消防団員（消防団OB）の登用に より、昼間の災害対応を迅速に行えるように強化を図りました。

大田原市消防団員数の推移
大田原市の消防団員数



自主防災組織結成状況
平成28年3月現在において、市内59の自治会において12の自主防災組織が設立されました。



高齢者福祉

高齢者見守り組織の設立



発足式にのぞむ津久井市長

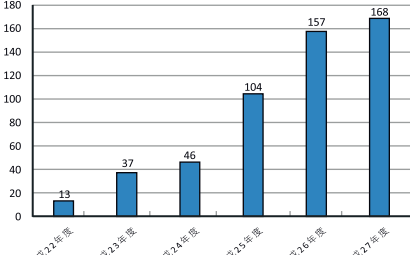
見守り隊大田原市全地区達成

100%達成

安心生活創造事業
（高齢者見守り組織の設立）

平成28年3月現在において、市内168自治会（12地区）すべてにおいて見守り組織が設立されました。高齢者等、見守りが必要な皆さんも安心して生活を送ることができます。

市内168自治会の見守り組織累計設立状況



指定管理者制度の推進



道の駅
那須与一の郷



民間委託による大きな財政効果

平成25年度からの4年間で約7,000万円の経費削減

民間委託前の市の持ち出し年間平均約1,750万円で推移

道の駅 那須与一の郷は、平成16年4月の開所以来、大田原市農業公社が管理運営を担い、財政面の管理料や運営費は市から補助金として支出されており、平成22年度～平成24年度の3ヵ年合計では、5,276万円が支出されております。

現在の指定管理者制度になってからは、管理料や運営費の補助金は0円であり、更に施設使用料として毎年900万円が市に納入され、指定管理者が民間事業者の創意工夫により施設を効率よく運営し、大田原市に大きな財政効果をもたらしたと言えます。

第2次大田原市行政改革大綱 達成状況

第2次大田原市行政改革大綱では、6つの大項目を行政改革の重点項目として定め、具体的に小項目27項目の取り組みを行ってきました。担当課は年度別に定めた目標に対して、達成状況の自己評価を実施しています。達成度の評価基準は以下のとおりです。

行政改革大綱6つの大項目

- 1 自助・互助・公助のまちづくりの推進
- 2 市民サービスの向上
- 3 効率的な執行体制の確立
- 4 行政体制の見直し
- 5 持続可能な財政構造の確立
- 6 公営企業等の経営健全化

5年間の達成度評価		件数
a	（数値目標あり）90%以上 （数値目標なし）ほとんど達成したとき	19
b	（数値目標あり）80%以上90%未満 （数値目標なし）大半を達成したとき	7
c	（数値目標あり）60%以上80%未満 （数値目標なし）遅れているとき	0
d	（数値目標あり）60%未満 （数値目標なし）ほとんど達成できなかった	1
合計		27

5年間の担当課評価の平均値等を参考に達成度の最終評価を行いました。27項目のうち、a評価が19件、b評価が7件、c評価が0件、d評価が1件となりました。取り組み27項目中d評価が1件ありますが、そのほかは概ね計画通りに達成できています。

また、すべての取組内容において、行政改革の効果を財政効果額として金額に換算することは難しいですが、民間委託の推進や定員適正化計画による人件費の削減、事務経費の節減等を行った結果、5年間で累計約18.5億円の財政効果が得られました。

取組内容と年度別の財政効果額（財政効果額として金額に換算できる取組み）

（単位：千円）

大項目	小項目		H23 財政効果額	H24 財政効果額	H25 財政効果額	H26 財政効果額	H27 財政効果額	計
1	5	保育園民間委託等の推進	4,781	34,206	34,071	—	—	73,058
	7	学校給食調理業務の民間委託	18,899	19,026	29,497	16,558	29,424	113,404
2	11	市民参加による事業仕分けの実施※	—	376,587	76,948	19,640	7,555	480,730
3	13	定員適正化計画による定員管理	230,424	158,055	185,243	57,321	219,159	850,202
5	19	広告事業による税外収入の確保	406	537	1,532	2,319	2,649	7,443
	20	三役の給与カット	4,389	3,910	4,709	—	—	13,008
	21	管理職手当、時間外勤務手当の削減	4,887	5,060	5,071	850	1,495	17,363
	22	経費の節減（事務改善マニュアルに基づく削減）	15,598	13,310	15,743	16,723	17,977	79,351
	23	市有財産の有効活用	5,440	17,889	45,692	112,570	40,396	221,987
計			284,824	628,580	398,506	225,981	318,655	1,856,546

※小項目11「市民参加による事業仕分けの実施」のH24財政効果額は、H24を基準としてH25～H27の3年間の削減額を合計したものです。

引き続き、「第3次大田原市行政改革大綱（H28-H32）」に基づき、行政改革を推進していきます。

大田原市HP 第2次大田原行政改革大綱実施状況（最終報告書）より抜粋